

遠農高PTAだより

令和7年3月1日
北海道遠別農業高等学校
遠別農業高等学校PTA

令和6年度を終えて

校長 芳賀 雄太



令和6年度も残り1カ月程となりました。本校PTA会員の皆様には日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。

さて、今年度は、例年より人数の多い教職員の異動があつてのスタートとなり、生徒の皆さんにとっても昨年度までと違う学校の雰囲気を感じ学校生活を過ごしていた人もいます。

しかし、この一年間のなかで、例えばピアサポートについての考え方や取組みを学び、人と人との関係性をスキルとして学び、認定証を受け取ることができた人、学校祭やスポーツフェア等の行事で先生方を交え楽しくハッスルできた人、部活動や校外活動で優秀な成績を残したり、学校での取組を多くの機会に外部発信、紹介・PRできた人…等、頼もしい活躍をしてくれた生徒の皆さんがたくさんでした。

卒業する3年生22名に限定すると、高校に入学した当初の新型コロナの影響、この状況からの回復期間を2年目、3年目で過ごし、3年目の生活でやっと本来の高校生活に近い状態を取り戻すことができた実感があつたと思います。このような状況の中で全てが充実感で満たされる高校生活とはならなかった時期はあると想像しますが、その分、これから就職、進学いずれの進路を選択したとしても次のステージで、夢と期待を持って社会の中で様々な経験を重ね更に成長を続け、一人ひとりが今以上の飛躍をしてくれることに期待をしたいと思います。

最後に、PTA会員の皆様には、一年間のご支援のお礼と併せて、今後の遠別農業高校の教育活動に引き続きご支援とご協力をお願い申し上げ、今年度の活動を終える挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

あなたの「いいね！」が
遠農を元気に!!



卒業おめでとうございます

PTA 会長 佐藤 博之

3年生のみなさん、卒業おめでとうございます。遠農での3年間を振り返ってみてどうでしたか？

入学当初は、コロナ禍の中で色々大変な思いも経験した分、制限解除になった時は羽目も外したと思います。

それも良い思い出として、これからの人生に活かして欲しいです。就職する人、進学する人、それぞれが違った方向に進むと思いますが、遠別農業高校で学んだことを忘れずに前進してってください。

保護者の皆様、諸先生方、地域の皆様PTA活動へのご理解、ご協力に心から感謝申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。

最後となりますが、卒業される3年生の将来が活躍する未来を想像し、現実となることを楽しみにしています。卒業おめでとうございます。

卒業おめでとうございます

体育文化後援会会長 濱下 愛

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様、お子様が立派に成長され、今日の日を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

卒業生の皆さん、人生の中で一握りの3年間を日本最北の農業高校、遠農で過ごしてみてどうだったでしょうか？

四季を通して農業高校ならではの学習や経験を積み重ねながら、羊の成長とともにきっと皆さんもたくましく成長されたことと思います。遠別農業高校で学んだことを糧に、彩り豊かな人生を送ってくださることを願っております。

最後となりますが、校長先生をはじめ諸先生方、保護者・地域の皆様にはPTA活動へのご理解・ご協力をいただき感謝申し上げます。今後とも遠農生の成長を願い、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

卒業生諸君への祝辞

3学年担任 岡 崎 淳 一



春光の麗らかなる今日、皆さんが高校という一つの道程を終え、新たな人生の門出に立たれることを、心よりお祝い申し上げます。三年間の学びの日々は、遥かなる未来への礎を築く貴重な時間であり、同時にかけがえない青春の一頁でもあったことでしょう。

皆さん、人生とは川の流れのごとく、時に穏やかに、時に激しく、そして容赦なく進むものです。その中で我々が為すべきことは、ただ流されるに甘んじるのではなく、自らの意志をもって權を取り、望む方へと進むことです。

皆さんはこれまでの学びによって、その權を握る力と知恵を備えてきました。炎天のもとでの畑作業、ロール上げ、止めどなく溢れる汗に抗いながら受ける授業、猛吹雪の中の登下校——これらの経験が、皆さんの心身の強さを培ってきたのです。しかし忘れてならないのは、どの川にも必ず源があるということ。今日まで皆さんを支えてくださった先生や友人、そして家族への感謝の気持ちを忘れず、自分を支えてくれる人々の思いを胸に、新たな航海へと漕ぎ出してください。

皆さんの行く手には嵐もあるだろう。だが、進め。嵐の中でこそ己の力を試し、さらなる高みへと進む機会が訪れることもあるからだ。

ただし、時には無理をせず立ち止まれ。その場に立ち止まり、嵐がやむまで耐え忍ぶことは、次の歩みを確かにするための一策であることを忘れてはいけない。

私は、皆さんがそれぞれの道で輝き、豊かな人生を築かれることを心より願っています。

どうか遠農卒業生としての誇りと、遠農で培った勇気を胸に、果てしなき未来へと進んでください。

卒業おめでとう。

令和 6 年度 進路状況

	希望者	決定者	未定	決定率	
進 学	7名	7名	0名	100%	大妻女子大学, 北海学園大学, 北海道文教大学, 北星学園大学, 江戸川看護専門学校, 札幌スイーツ&カフェ専門学校, 札幌ベルエポック製菓調理専門学校
就 職	15名	14名	1名	93%	宗谷岬牧場, 有限会社粒里, 雪印メグミルク株式会社, 三浦漁業部, 北海道立漁業研修所, 野口観光ホテルプロフェッショナル学院, 有限会社ホテルテトラスピリット, サフィールホテル稚内, 株式会社はなまる, 旭温泉, 自衛隊一般曹候補生, 家業(農家)
計	22名	21名	1名	95%	

2025 年 2 月 20 日現在

進学代表挨拶

3 年 富田 華恋



私が遠別農業高校に入学してから早三年が経ち、ここで過ごせる時間もわずかとなりました。振り返れば、入学当初は期待と不安で胸がいっぱいでしたが先生方の温かい指導と、クラスメイトとのかけがえのない日々を通じて、多くのことを学び、成長することができました。

私は来年度から大学生になります。進学という新たな道を進むにあたり、不安もありますが、それ以上に学び続けたいという強いがあります。これまでの経験を胸に、新しい環境でも挑戦し続けていきたいと思います。最後に、支えてくださった先生方、家族、ともに笑いあってくれた級友たち、今まで本当にありがとうございました。

就職代表挨拶

3 年 藤門 菜々



私は春から栗山町にある農業法人「粒里(つぶり)」で働くこととなります。元々農業関連の仕事に就きたいという思いから、この遠別農業高校に入学しました。しかし、入学してすぐの頃は自分が思っていたよりも実習が大変で将来、農業関連の仕事に就きたいという思いが薄まったこともありました。

それでも、3年生になってからは学校生活や農業実習にも慣れてきて楽しいと思える瞬間が多くなりました。そして自分の進路を真剣に考えなくてはならなくなった時期に改めて自分がやりたい仕事を考えたところ、やはり農業関連の仕事がしたいと強く思い、農業の道に進みました。これからは多くの方においしい作物を届けられるように努力し、多くの方を笑顔にしていきたいです。最後にこれまで支えてくださった保護者や先生方、クラスメイトのみんなにお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

各大会結果

■□ 農業クラブ □■

【第 75 回日本学校農業クラブ全国大会岩手大会】岩手県
農業鑑定競技(農業) 3 年 盛合 洸希 出場

■□ 陸上競技部 □■

【第 39 回高体連名寄支部新人陸上競技大会】士別市

男子 100m 予選 1 年 山野 莉玖 13 秒 26
男子 800m 予選 1 年 佐藤 譲 3 分 02 秒 14 (4 位)
男子 1500m 予選 1 年 佐藤 譲 6 分 10 秒 68 (4 位)
男子円盤投決勝 1 年 山野 莉玖 20m74
(3 位・自己新・全道大会出場)

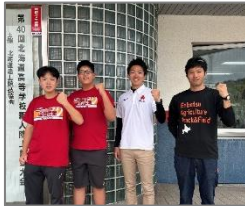
男子砲丸投決勝 2 年 泊村 陸 10m34
(2 位・自己新・全道大会出場)

男子やり投決勝 2 年 泊村 陸 33m38
(2 位・自己新・全道大会出場)

男子 4×400mR 決勝
(1 走: 山野 2 走: 佐藤譲 3 走: 佐藤峻 4 走: 井手)

【第 40 回北海道高等学校新人陸上競技大会】室蘭市

男子砲丸投予選 2 年 泊村 陸 10m46
男子円盤投予選 1 年 山野 莉玖 23m18



■□ バドミントン部 □■

【高体連盟名寄支部バドミントン選手権大会】名寄市

男子シングルス 2 年 入井 蒼士 一回戦出場
女子シングルス 2 年 今野 友月 一回戦出場

■□ 吹奏楽部 □■

【高文連道北支部音楽発表会】士別市

吹奏楽部門(コンクール) 天塩高校との合同 優秀賞

【令和 6 年度第 42 回留萌管内吹奏楽祭】留萌市

天塩高校, 苫前商業高校との合同参加



■□ 軽音楽部 □■

【高文連道北支部軽音楽新人大会】

バンド名 左フックブロー 映像審査 7 位

スポーツフェア



スキー遠足



農ク全国大会に出場して

3 年 盛合 洸希

今までは校内大会の出場経験しかありませんでしたが、高校最後の 3 年生に全道大会で上位に入賞することができ、岩手大会に参加することができました。

全国大会に参加をして、北海道とはまた違った景色や雰囲気で参加生徒も多く圧倒されることも多い中、勉強をできていなかった問題が多数出題され、全国の難しさを痛感しました。初めて全国での鑑定競技に出場して今思い返すととても楽しかったです。また、全国レベルの意見発表や実績発表を間近で見る事ができて、とても楽しく過ごすことのできた全国大会でした。初めて最後の全国大会で力が及びませんでしたが、出場できたことが自分にとっていい経験でしたし、満足のいく結果でした。

卒業にあたって(生産科学コース)

3 年 青山 冬唯

私がこの遠別農業高校に進学しようと思った理由は、実家から離れた場所で寮生活をしてみたいという気持ちと珍しい羊がいるからという理由があったからです。

遠別農業高校では、農業の技術や知識だけではなく、自然と向き合う姿勢や仲間と協力する大切さを学ぶことができました。実習をしてみて、作物を育てる大変さを経験することができました。そのおかげで、忍耐力や責任感を養うことができ、この先もやっていける自信ができました。この学びは、これから進む進学の道でも大きな糧になると思っています。このことを大人になっても忘れずに生かせる場所で生かしていけるように頑張ります。ありがとうございました。

卒業にあたって(食品科学コース)

3 年 木戸 結心

中学生の終わりに農業をやってみたいと、唐突に思い、調理師という昔からの夢から農業の道を選びこの高校に入学しました。はじめはわからないことばかりで、実際に農業をやってみてもうまいかず、入学早々に農家の道は諦めてしまいました。将来どうしようと途方に暮れていましたが分会活動で乳肉加工分会に入り、農業を学びながら製造やちょっとした調理の技術を学べました。

遠別農業学校の一番の良さは、先述した農業を学びながらほかのことも学べるところにあると思います。実際に僕は二つの道を歩くことができ、無事に調理系の仕事に内定をいただきました。この三年間たくさんの経験を積み成長できたと思います。三年間ありがとうございました。